

特 別 入 試 (推 薦 入 試 I)

別表 3 - 1

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 技術
募 集 人 員	2人
出 願 要 件	<p>次の各号に該当する者で，高等学校長（中等教育学校長，高等部を置く特別支援学校の長及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設の長を含む。以下同じ。）が責任をもって推薦できるもの</p> <p>(1) 平成29年3月に高等学校を卒業した者及び平成30年3月に高等学校（中等教育学校，高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。）を卒業見込みの者</p> <p>(2) 高等学校の学業成績・人物が優秀で，更に高度の学業を修得する熱意と教員になる強い意志を有する者</p> <p>(3) 高等学校の学習成績概評がA以上で，特に専門教科の成績が優れている者</p> <p>(4) 合格した場合は，入学することを確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	小論文，面接，出身高等学校の調査書，高等学校長の推薦書及び志望理由書に基づいて総合判定し選抜する。
出 願 期 間	平成29年11月6日(月)～平成29年11月8日(水)
選 抜 期 日	平成29年11月20日(月)
合 格 者 発 表 日	平成29年12月1日(金)
そ の 他	<p>推薦人員 各校から2人以内</p> <p>対象となる高等学校の学科 工業系，農業系あるいはこれらに準ずる学科</p> <p>小論文 これまでに学んだ技術に関する内容を基礎に，技術に対する見方・考え方を問う。</p> <p>面接 将来，中学校技術科教育に携わる者としての意欲，適性等を評価する。</p>

特 別 入 試 (推 薦 入 試 I)

別表 3 - 2

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 家政
募 集 人 員	2人
出 願 要 件	次の各号に該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 平成30年3月に高等学校を卒業見込みの者 (2) 高等学校の学業成績・人物が優秀で、更に高度の学業を修得する熱意と教員になる強い意志を有する者 (3) 高等学校の学習成績概評がA以上である者 (4) 家政に関する科目(注)を25単位以上履修した(見込みを含む。)者 (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者
選 抜 方 法 等	小論文、出身高等学校の調査書、高等学校長の推薦書及び志望理由書に基づいて総合判定し選抜する。
出 願 期 間	平成29年11月6日(月)～平成29年11月8日(水)
選 抜 期 日	平成29年11月20日(月)
合 格 者 発 表 日	平成29年12月1日(金)
そ の 他	推薦人員 各校から1人 対象となる高等学校の学科 家政科あるいはこれに準ずる学科、もしくは総合学科 (注)・家政に関する科目を25単位以上履修できる学科は準ずる学科とみなす。 ・指導要領の教科「家庭」に属する科目は「家政」に関する科目とみなす。その他の科目については、事前に文書により問い合わせること。 小論文 高等学校までに習った家庭科あるいはこれに準ずる科目を基礎に、生活についてのものの見方・考え方を問う。

特 別 入 試 (推 薦 入 試 I)

別表 3 - 3

実施学部・学科名	理学部 地球環境科学科
募 集 人 員	15人
出 願 要 件	<p>次の各号に該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できるもの</p> <p>(1) 平成30年3月に高等学校を卒業見込みの者</p> <p>(2) 高等学校の学業成績・人物が優秀で、特に数学、外国語及び理科のそれぞれの成績が優れている者</p> <p>(3) 地球科学、分析化学、野外生物学のいずれかに興味と熱意がある者</p> <p>(4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	小論文、出身高等学校の調査書、高等学校長の推薦書及び志望理由書に基づいて総合判定し選抜する。
出 願 期 間	平成29年11月6日(月)～平成29年11月8日(水)
選 抜 期 日	平成29年11月20日(月)
合 格 者 発 表 日	平成29年12月1日(金)
そ の 他	<p>推薦人員 各校から2人以内。ただし、文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール」の指定校からは4人以内。</p> <p>対象となる高等学校の学科 全学科</p> <p>小論文 自然科学に関する基礎知識と論理的思考力を問うものであり、的確な文章表現も重要な評価基準になっている。</p>

特 別 入 試 (推 薦 入 試 I)

別表 3 - 4

実施学部・学科等名	医学部 保健学科 看護学専攻
募 集 人 員	20人
出 願 要 件	次の各号に該当する者で，高等学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 平成30年3月に高等学校を卒業見込みの者 (2) 高等学校の学業成績・人物が優秀で，更に高度の学業を修得する熱意と能力を有する者 (3) 高等学校の調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者 (4) 看護学の修得に興味と熱意がある者 (5) 合格した場合は，入学することを確約できる者
選 抜 方 法 等	小論文，面接に基づいて総合判定し選抜する。 出身高等学校の調査書，高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の参考資料とする。
出 願 期 間	平成29年11月6日(月)～平成29年11月8日(水)
選 抜 期 日	平成29年11月21日(火)
合 格 者 発 表 日	平成29年12月1日(金)
そ の 他	推薦人員 各校から2人以内 対象となる高等学校の学科 全学科 小論文 人間の生命と社会・文化に関する課題文(和文・英文)を読み，読解力，思考力，表現力を問う。 面接 医療人としての適性及び能力をみる。

特 別 入 試 (推 薦 入 試 I)

別表 3 - 5

実施学部・学科名	工学部 機械工学科
募 集 人 員	8人
出 願 要 件	<p>次の各号に該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できるもの</p> <p>(1) 平成30年3月に高等学校を卒業見込みの者</p> <p>(2) 高等学校の学業成績・人物が優秀で、更に機械工学の勉学に意欲があり、高度の学業を修得する熱意と能力を有する者。 なお、物理基礎、物理のうち1科目以上を履修していること。</p> <p>(3) 学業成績・人物については、次のいずれかに該当する者 高等学校の学習成績概評がA以上である者 高等学校在学中、課外活動などに熱心に携わっていた者 ある分野(芸術・スポーツなど)に特に優れた能力又は資格を持つ者 模型、パソコン、機械などの分解・組立・操作などに熱意をもって取り組んでいる者</p> <p>(4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	小論文、面接及び出身高等学校の調査書に基づき総合判定し選抜する。高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の参考資料とする。
出 願 期 間	平成29年11月6日(月)～平成29年11月8日(水)
選 抜 期 日	平成29年11月20日(月)
合 格 者 発 表 日	平成29年12月1日(金)
そ の 他	<p>推薦人員 各校から2人以内</p> <p>対象となる高等学校の学科 全学科</p> <p>小論文 修学上必要な数学・物理(注)の基礎学力を問うとともに、高等学校までに習った数学や理科などを基礎に論理的思考力や科学的発想の豊かさを問い、機械工学への意欲と適性を評価する。</p> <p>(注) 数学の範囲は数学 及び数学 , 物理の範囲は物理基礎とする。</p> <p>面接 学習意欲、目的意識と適性について評価する。</p>

特 別 入 試 (推 薦 入 試 I)

別表 3 - 6

実施学部・学科名	工学部 電気電子工学科
募 集 人 員	2人
出 願 要 件	<p>次の各号に該当する者で，高等学校長が責任をもって推薦できるもの</p> <p>(1) 平成30年3月に高等学校を卒業見込みの者</p> <p>(2) 高等学校の学業成績・人物が優秀で，更に高度の学業を修得する熱意と能力を有する者</p> <p>(3) 合格した場合は，入学することを確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	<p>面接及び出身高等学校の調査書に基づき総合判定し選抜する。</p> <p>高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の参考資料とする。</p>
出 願 期 間	平成29年11月6日(月)～平成29年11月8日(水)
選 抜 期 日	平成29年11月20日(月)
合 格 者 発 表 日	平成29年12月1日(金)
そ の 他	<p>推薦人員 各校から2人以内</p> <p>対象となる高等学校の学科 電気科，電子科，情報科あるいはこれらに準ずる学科，もしくは総合学科 (注) 総合学科については，電気・電子と情報に関する科目を25単位以上履修した(見込みを含む。)者に限る。</p> <p>面接 基礎学力，電気電子工学の一般常識，学習意欲，目的意識について評価する。</p>

特 別 入 試 (推 薦 入 試 I)

別表 3 - 7

実施学部・学科名	農学部 〔 農業生産科学科 食料生命科学科 農林環境科学科 〕
募 集 人 員	農業生産科学科 8人 食料生命科学科 3人 農林環境科学科 4人
出 願 要 件	次の各号に該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 平成30年3月に高等学校を卒業見込みの者 (2) 高等学校の学業成績・人物が優秀で、更に高度の学業を修得する熱意と能力を有する者 (3) 高等学校の学習成績概評がA以上である者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
選 抜 方 法 等	小論文、面接、出身高等学校の調査書、高等学校長の推薦書及び志望理由書に基づいて総合判定し選抜する。
出 願 期 間	平成29年11月6日(月)～平成29年11月8日(水)
選 抜 期 日	平成29年11月20日(月)
合 格 者 発 表 日	平成29年12月1日(金)
そ の 他	<p>推薦人員 各学科に対して、各校とも各科から2人以内</p> <p>対象となる高等学校の学科 農業生産科学科：農業科、農業経営科、畜産科、園芸科、生物工学科あるいはこれらに準ずる学科、もしくは総合学科 食料生命科学科：生物工学科、食品関連科学、農業科、畜産科、園芸科あるいはこれらに準ずる学科、もしくは総合学科 農林環境科学科：農業科、農業経営科、林業科、森林関連学科、農業土木科、農業機械科、生物工学科、電気科、機械科あるいはこれらに準ずる学科、もしくは総合学科</p> <p>(注) 総合学科については、農業生産科学科及び食料生命科学科では、農業に関する科目を25単位以上履修した(見込みを含む。)者、農林環境科学科では、農業、林業、工業など農林環境科学に関する科目を25単位以上履修した(見込みを含む。)者に限る。</p> <p>小論文 農業生産科学科及び農林環境科学科 専門を学ぶ上で必要な常識的事項、あるいは専門分野におけるトピックス的なものを課す。 食料生命科学科 食料生命科学に関する分野への関心の深さ及び話題や問題点を論理的に考察し表現できるかを問う。</p> <p>面接(各学科共通) 志望理由書を参考にして行い、関心度、学習意欲、基礎知識等を評価する。</p>

特 別 入 試 (推 薦 入 試 I)

別表 3 - 8

実施学部・学科名	水産学部 水産学科 } 水圏科学領域 水産資源科学領域 食品生命科学領域
募 集 人 員	水圏科学領域 2人 水産資源科学領域 2人 食品生命科学領域 2人
出 願 要 件	次の各号に該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 平成30年3月に高等学校を卒業見込みの者 (2) 高等学校の学業成績・人物が優秀で、更に高度の学業を修得する熱意と能力を有する者 (3) 高等学校の学習成績概評がA以上である者、又はスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業による教育を受けて所定の単位を修得した者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
選 抜 方 法 等	小論文、面接、出身高等学校の調査書、高等学校長の推薦書及び志望理由書に基づいて総合判定し選抜する。
出 願 期 間	平成29年11月6日(月)～平成29年11月8日(水)
選 抜 期 日	平成29年11月20日(月)
合 格 者 発 表 日	平成29年12月1日(金)
そ の 他	<p>推薦人員 各校から、水圏科学領域、水産資源科学領域及び食品生命科学領域を合わせ全体で1人</p> <p>対象となる高等学校の学科 普通科あるいはこれに準ずる学科</p> <p>「スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業による教育を受けて所定の単位を修得した者」については、その生徒が入学以来平成29年度まで一貫して指定されている学校からの推薦に限る。</p> <p>小論文 水産学を学ぶ上で必要な基礎的事項に関する理解力、あるいはトピック的なものに関する理解力ならびに考察力を問う。</p> <p>面接 水産学を学ぶ意欲等について評価する。</p> <p>領域の志望については、第1～3志望を認める。</p>